



LAZONA ラゾーナ

藤尾歴史散歩

藤尾学区まちづくり協議会 歴史文化部会



第17回 藤尾発祥の日本の名産・お土産

< その ④ >

大谷・追分の名物といえば、大津算盤と大津絵が挙げられますが、縫い針も「池の川針」の名で知られる地元の特産品でした。福井小左衛門の「大谷みすや針」、追分大黒屋の「池川針」、大谷井口大和の「虎屋針」などの名が残っています。



●「みすや針」（井筒八ツ橋本舗追分店提供）

江戸時代の儒学者で養生訓（健康・健康法の指南書）で有名な貝原益軒は「逢坂山この辺の町に針を売る所多し、とらやを良しとす」と記しています。

大黒屋（池川針）の森越清兵衛の先祖は奈良の人で、中国から縫い針が大和に伝えられ売り始めたのが最初とされており、天正10年（1576年）に創業し、万治2年（1659年）に伏見の池川から移住したので、池川と称したとされます。

針の最盛期は元禄（1688年～1703年）で関係する針職は20戸あったと言われ、製造高は幕末に4～500万本、明治4年には186万本余とあり、大津そろばんも同様ですが店頭売りで販路拡張とか製法改良を怠り生産が衰退したことがわかります。明治6年（1873年）オーストリアの首都ウィーンで開かれた博覧会商品見本市に出品した記録があります。（文・松井佐彦）

「縫針」大谷みすや針・虎屋針 追分池の川針



●三條本家みすや針（三条通河原町西入）

余話

この「藤尾発祥の日本の名産・お土産」シリーズは『伊勢参宮名所図』や『近江輿地志略』に載っているものを4回シリーズとして取り上げました。

大谷の松茸も有名であったそうです。（歴史文化部会）



●御針所看板
「池の川針」を売った店の看板

バックナンバーご希望はコミュニティセンターまで

